



# 冷(霊)泉が湧く屋萩山神社

## ☆屋萩山神社のご縁日に行ってきました☆

1688年、広貞上人が夢のお告げを受けて屋萩山海運寺を開基しました。さらに二度目の夢で「梵天石の下に日本一の名湯あり」とお告げがあったので、そのとおりに掘ったところ、名湯が湧き出で、湯治場として栄えたと伝えられています。(屋萩山海運寺は明治維新後の廃仏毀釈令施行の際に、やむなく「屋萩山神社」と呼称を改められたようです。)



屋萩山神社の鳥居



山の奥にたたずむ本殿

現在では、在りし日の温泉源が冷(霊)泉となり、湯治場も沸かし湯に変わりました。毎年8月15日に、神様を湯に入れたのち、集落の人達も湯につかり湯治をしているそうです。今年は9月15日に開催され、10人ほどの住民が集まり、お供え物をしたり、湯につかったりしていました。



神社周辺に生えていたツゲ



ツゲのお茶

屋萩山神社周辺にはツゲが生えています。ツゲは湯治者や修行僧がお茶にして飲んだと言われていて、今でも屋萩山神社のご縁日などで人々に振る舞われています。